



医学・看護学教育通信

第 13 号

発行 2008.10.7

Medical and Nursing Education News

平成 20 年度(16 回)医学・看護学教育ワークショップ

8 月 22 日に医学部において、「医師、看護職者キャリア形成教育の構築」をテーマに第 16 回医学・看護学教育ワークショップが開催されました。午前中の特別講演では、東京大学医学教育国際協力研究センター・北村聖先生による「医師のキャリアデザイン」、古川康佐賀県知事による「佐賀県の行政に新たな生命を吹き込んでみませんか」、東京医科歯科大学・井上智子先生による「専門看護師育成と大学院教育の展望」の講演が行われ、各テーマに関するグループワーク発表の後には、北村先生や井上先生にもご参加いただき、活発な討論が行われました。

医学部門

医学部門では、「学部学生へのキャリア形成についての教育」と「女性医師のキャリアパス教育」の 2 つのテーマでグループワークが行われ、「学部学生のキャリア形成教育」においては、教養教育の時点から将来のキャリア形成を念頭にいたカリキュラム検討の必要性、臨床医・研究職・教育職・行政職など多様な選択肢を早期からガイダンスすること、全人的な教育を行う重要性、アーリーエクスポージャーや英語教育の充実の必要性などが提案されました。また、「女性医師のキャリアパス教育」に関しては、現状の把握や女性医師ネットワークの構築、現場復帰への再教育や職場環境・勤務形態の整備など周囲のバックアップシステムを作っていく必要性などが討論されました。(吉田和代)

看護学部門

専門看護師教育課程認定委員会委員長である井上智子教授による特別講演では、急増する看護系大学(168校)及び大学院(修士100校)における専門看護師育成について、米国での変遷と我が国の過程について解説していただきました。日本では1996年から専門看護師教育が開始されましたが、その数は累計238名と少数にとどまっております。九州では8名、佐賀県は0名という現状です。看護現場において、看護ケアの質の向上を図る専門的能力をもつ実践者であり、スタッフナースへの相談・教育者、研究者、調整者としての機能をもった人材を地域に輩出すべく、本学でも専門看護師教育について検討が始まりました。

グループワークは「専門看護師へのキャリアパス」のテーマで、看護学科の教員だけでなく、附属病院の看護部からも4名が参加し、臨床でのニーズや期待を含めた討論が行われました。認定看護師との役割の違いや待遇について、看護管理者からの発言もあり、病院組織の中での活用について今後の検討が必要だと思われました。他に、本学での専門看護師育成分野やがん看護分野の教

育カリキュラムについて活発な討論が行われました。今回のワークショップを通じて、看護部と合同で意見交換ができただけでなく、医学科教員の専門看護師への関心が広がることを期待しています。

学部学生へのキャリア形成については看護教員でのグループワークはできませんでしたが、発表を聞きながら、離職者が多く流動性の高い看護職のキャリア形成支援について、学部在学中から卒業後5年、10年を見据えた積極的な支援が重要だと改めて感じました。(藤田君支)

* 解説

専門看護師(CNS: Certified Nurse Specialist)とは、高い専門性と優れた看護実践能力を持っている者として、日本看護協会(看護職の職能団体)から認められた看護職者のことです。現在、専門看護師は、「がん看護」「精神看護」「地域看護」「小児看護」「老人看護」など、9分野で活躍しています。専門看護師の認定試験を受ける条件として、大学院修士課程で必要な看護学の単位を修得して修了していること、看護実務経験が5年以上あり、そのうちの3年以上は専門とする特定分野の経験で、1年以上は修士課程を修了後の経験であることが必要です。

(日本看護系大学協議会 <http://janpu.umin.ac.jp/kango/k08.html>)

教養教育等(前期)に関する医学部1年次学生アンケートの集計結果について

=平成16年度~平成20年度の集計結果から=

医学部1年次の学生を対象に、7月に実施しました教養教育等(前期)に関するアンケート結果がまとまりました。

昨年度までのアンケート結果と比較し、鍋島キャンパスで開講される主題科目が増えたためか、『主題科目の満足度』がやや上がっています。『本庄キャンパスに通うことで良かったこと』との質問に対しては、「多くの授業科目からの履修選択」ができることは評価されていますが、「良かったことはない」との回答も多数あることや、自由記述でも厳しい意見をいただいていますので、鍋島キャンパスで受講できる主題科目を更に増やすために、新たな科目の立ち上げについて医学部教育委員会で検討されているところです。

なお、アンケート集計結果の詳細については、医学部ホームページに掲載していますのでご覧ください。

<http://www.saga-u.ac.jp/jump/med.html> (田崎法人)

教育広報部会

小田康友、池田豊子、市場正良、吉田和代、江村正、藤田君支、田崎法人

ご意見をお待ちしています (oday@cc.saga-u.ac.jp)

